

文芸 さくらがわ

俳句

【桜川市岩瀬「萩」俳句会】
もみぢ降る一期一会の野点かな

小林 啓治

妻と居て緑の冬日を欲しいまま

萩原 勅彦

宮司賞受けたる菊の威儀解かず

藤田 凡鐘

ひき寄せる毛布に反りて静心

小林 フク

しろがねの光を放つ冬木の芽

三代 みちよ

箒目に鳥の足あと神の留守

若色 寿美女

おしゃべりと笑顔が揃ふ日向ぼこ

金田 とう女

枯菊を焚ひて香りに包まれり

渡辺 いし

鼻水をすゝりながらの芋煮会

入山 ひろ子

シクラメン家の一等席に座す

永瀬 ちい

声高の電話が歩く師走かな

細谷 充女

母の訃報に手零れしたる風邪薬

萩原 きしの

【茂山俳句会】

円空の仏は未完木曾時雨

海老沢 静夫

夢多き少年の眸や冬銀河

鈴木 ノブ子

お地藏の前垂赤く冬ざるる

田崎 信子

手のひらにのる紫の遠筑波

泉 健作

襟巻の狐くるりとそつぽ向く

松崎 いま

湯豆腐や湯気の向うに夫の顔

大関 くに

夕紅葉入日吸ひ込む深さかな

海老沢 幸子

落葉散る喪中はがきがやたら来る

植田 祥雲

一位の実ふふめば旅愁おのづから

今井 繁子

焼却の煙真横に冬の暮

君島 真理子

木守柿鳥屋も豚舎も朽ちしまゝ

宮本 芳江

湯豆腐鍋互いに胡座かいてをり

吉原 秀子

秋祭り人ごみの中に友はいず

笠倉 陽子

万葉集書庫に眠れる年の暮

金子 弘毅

宝塔の緑青鈍き冬隣

竹林 てる

湯豆腐や父母も昭和もはるかにて

飯山 昭

短歌

【やまと早蕨歌会】

あの人もこの人も逝きさびしけり 兵隊話
する人もなし 笠倉 仰雲

若き日は足早に去り想ひ出はゆつくりめぐ
る星空の下 木藤 とみ

孫娘成人式だときどりきみ今日から異なる顔
で仲間入り 佐藤 悦子

去年今年 月の光は変らねど変り果てたる
被災者のくらし 田中 きみ

またひとつ齢重ねし除夜の鐘今年こそはと
夢を新たに 中原 すみ子

いちじつの歩数しるして梅園に春告鳥の初
音ききたり 中島 龍子

夫の足さすれば細きそのあたり眼鏡くもり
てベットの離る 北条 正子

俺よりも先に逝くなど言う夫にあれど我が
身に老の著けし 皆川 米子

【一般投稿】
紅葉の奥入瀬十和田めぐる旅湖辺の木陰に
乙女像輝く 梅井 光子

俚謡

【さくら俚謡会】

初日拜んでお屠蘇を飲んで夫と氏神宮参り
つく志 輝美

杉の木立や鳥居を潜り目ざす参拝奥の院
一木 みどり

雪は女の襟元なせて秘湯のランプのうす灯
り 稲葉 建正

地殻鎮めて復興誓い辰の時刻の初詣で

田 哲人

広報 さくらがわ 有料広告募集!

- サイズ 1 枠 29mm×85mm、2 枠 29mm×172mm
- 掲載料 1 枠 10,000 円、2 枠 20,000 円
(月額) ※連続掲載で割引制度があります。
- 問合先 秘書広報課 ☎58-5111-75-3111、内線1268

広報 さくらがわ 有料広告募集!

- サイズ 1 枠 29mm×85mm、2 枠 29mm×172mm
- 掲載料 1 枠 10,000 円、2 枠 20,000 円
(月額) ※連続掲載で割引制度があります。
- 問合先 秘書広報課 ☎58-5111-75-3111、内線1268